

令和3年度南部地区道徳教育研究協議会の概要

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、第1日は参集せず、第2日に録画した授業を視聴し、協議を行いました。例年、指導者による指導内容を掲載しておりますが、今年度は縮小しての開催となったため、概要を掲載させていただきます。

【第1日 研究協議題】

『特別の教科 道徳』の趣旨を踏まえ、『考え、議論する道徳』の授業を充実させるために、どのような工夫改善を図ることができるか。また、学習活動に着目した評価を行うに当たって、どのような工夫ができるか。

○ 日 程

10月20日（水）川口市立舟戸小学校・南中学校にて授業を録画した。

11月16日（火）に視聴・協議を行った。

○ 部 会

小学校…「自我関与」「問題解決A」「体験的A」の3部会

中学校…「問題解決B」、「体験的B」の2部会

・【自我関与部会】

「読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習」を学習活動の中心に据えた授業。

・【問題解決部会A・B】

「問題解決的な学習」を学習活動の中心に据えた授業。小学校はA、中学校はB。

・【体験的部会A・B】

「道徳的行為に関する体験的な学習」を学習の中心に据えた授業。小学校はA、中学校はB。

○ 授業の概要

部会名	クラス	内容項目	教材名・出典
自我関与	4年3組	A 善悪の判断、自由と責任	ハードがたのガム 「彩の国のどうとく」埼玉県教育委員会
問題解決A	5年1組	A 善悪の判断、自律、自由と責任	うばわれた自由 「生きる力 5」日本文教出版
体験的A	1年1組	B 親切、思いやり	はしのうえのおおかみ 「いきるちから1」日本文教出版
問題解決B	2年4組	D 生命の尊重	父へのメッセージ 「彩の国の道徳」埼玉県教育委員会
体験的B	1年3組	C よりよい学校生活、集団生活の充実	席替え 「新しい道徳1」東京書籍

- ・「問題解決部会」では、適切な学習課題を設定し、ねらいに迫る手立てとしていた。
- ・「体験的部会」では、中心発問の場面で役割演技を取り入れ、道徳的行為の良さや難しさを、児童生徒に考えさせていた。
- ・導入や話し合いの際、タブレット端末でアンケートを行い、問題意識の喚起や意見の可視化に活用していた。中学校では、付箋機能を活用し、全体に共有することで、話し合いを深める工夫を行っていた。

【研究協議題:第2日】

『特別の教科 道徳』を含む新学習指導要領の趣旨を踏まえ、自校の道徳教育の一層の充実を図るためには、全教職員の協力体制の確立、家庭・地域社会との連携が重要である。道徳教育推進教師として、どのような役割を担い、工夫改善をすればよいか。

○ 日 程

12月6日(月)～1月31日(月) オンデマンド配信

○ 内 容

- ・道徳教育推進モデル校 実践発表(和光市立第五小学校・桶川市立桶川西中学校)
- ・義務教育指導課からの情報提供
- ・講義「今求められる道徳教育と道徳教育推進教師としての役割」

講師 県立総合教育センター 原 卓範 指導主事

○ 参加者の感想(来年度以降の改善点)

(小学校)

- ・道徳教育推進教師を中心に、全教職員の共通理解・実践が図れるように研修や部会を開く。若手教員が多いため、道徳教育と道徳科の位置付けなど、基本的なところから理解が図れるようにする。道徳部会では、育成したい子供像を受けた学校全体及び各学年の重点目標を設定し、関連の深い各教科の単元、行事等を洗い出す。また、行事・活動の提案文書には、「道徳教育との関わり」の欄を設ける。全教育活動で意識すべきことが分かるように、年間指導計画別葉をいつでも目にする場に掲示する。
- ・校長の道徳教育の方針のもと、道徳教育の重点目標を全職員で見直し作成していく。コロナ禍で学校行事が精選されたので、それに合わせた特別活動や全教科と道徳教育との関連を図った別葉を作成する。中学校区との連携についても明記し、9年間の系統性をもたせる。

(中学校)

- ・まず、道徳教育推進教師として、研修で得た効果的な情報や方法を提供するだけでなく、実践する。それを互いに参観し合い、意見を出し合うことで、相互に高め合うようにしたい。道徳の授業の必要性について、教員はもちろん生徒にも理解を図るために掲示を有効活用する。それを踏まえて、小学校の壁面にある見たくなるような掲示物の作成を浸透させていく。その掲示を担当だけでなく、副担任の先生方と協力して作ることで負担感を減らしたい。
- ・全体計画や別葉を複数の教員で作成することで多くの教員が道徳に意識を向けられ、教科や学校教育と道徳の関連が見えやすくなるので実施していきたい。年度が始まる前に、次年度の道徳教育推進に当たる年間計画を作成し、年間の動きにローテーション授業などを位置づけていく。考え議論し、深い学びのできる授業を目指せるように、道徳部から、道徳科の授業づくりにおいて大切にする視点を通信などで周知するよう努める。